

令和5年度 東京都水防協議会

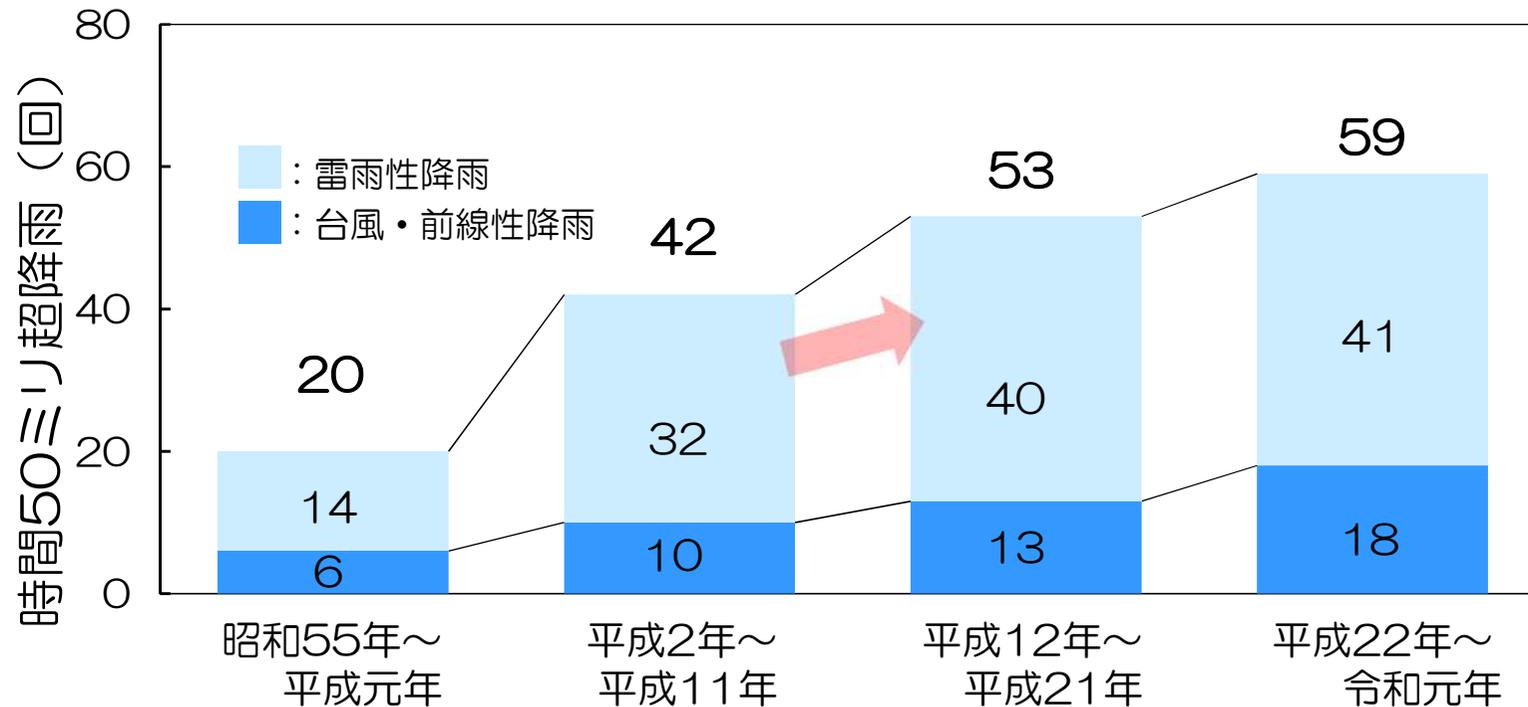
東京都の河川事業について



# 東京都における近年の降雨状況の変化

## ■時間50ミリ計画降雨を超える降雨数

時間50ミリを超える降雨数の推移



- 近年、時間50<sup>ミリ</sup>降雨を超える  
台風や雷雨性の局地的集中豪雨が増加

⇒ 降雨状況の変化への対応が急務

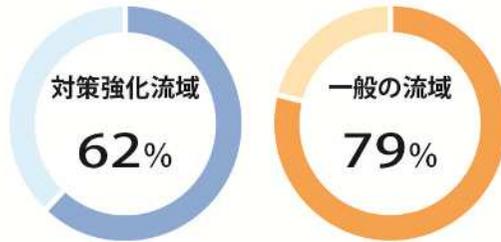
# 中小河川の洪水対策（護岸、調節池等の整備）

## ●中小河川の整備状況（令和3年度末時点）

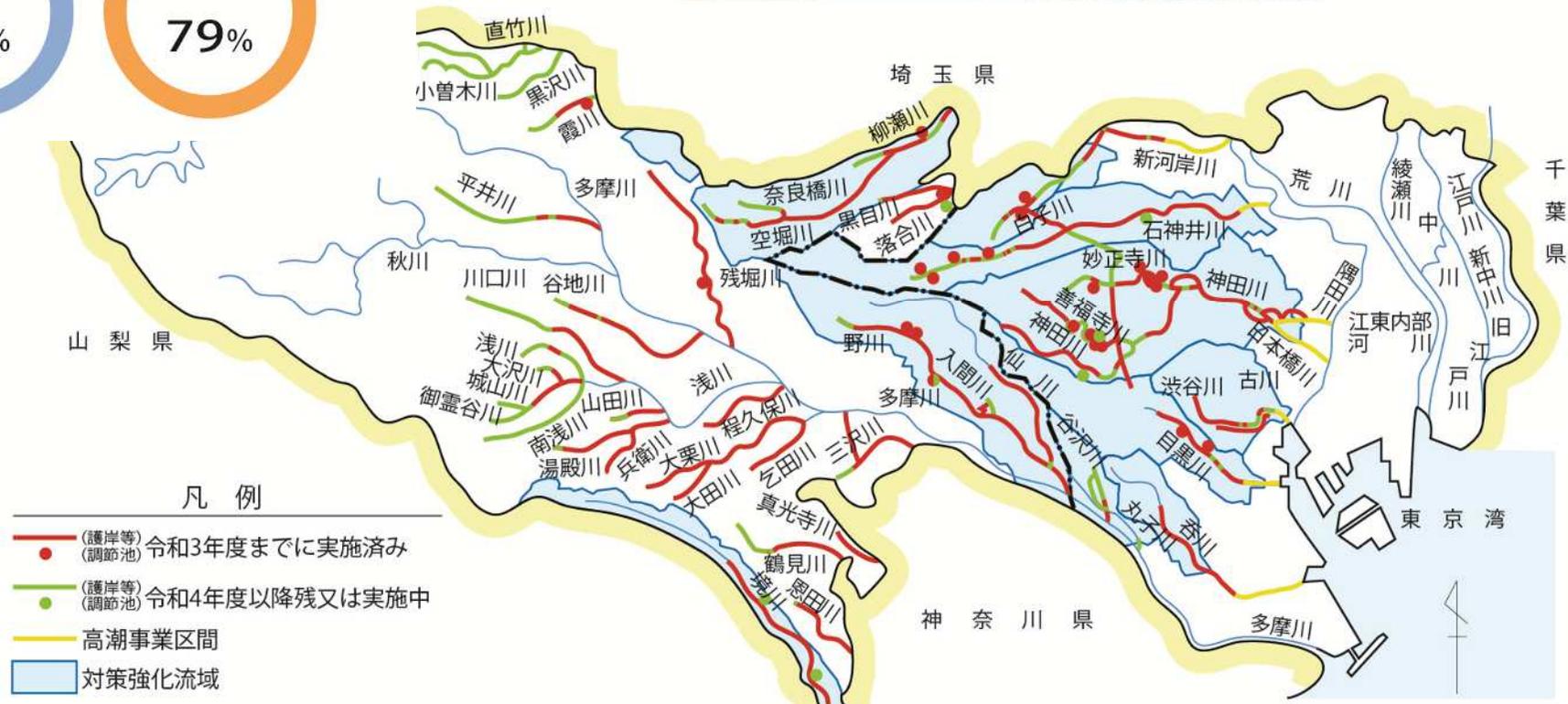
<各施設の整備状況>

護岸	220.2km /324km	護岸整備率 68%
調節池	27箇所	総貯留量 約264万m <sup>3</sup>
分水路	8箇所	総延長 約12km

<河川の安全度達成率>

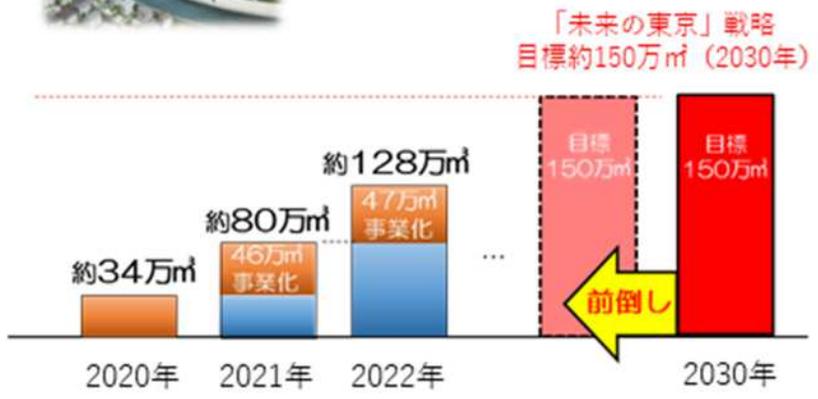
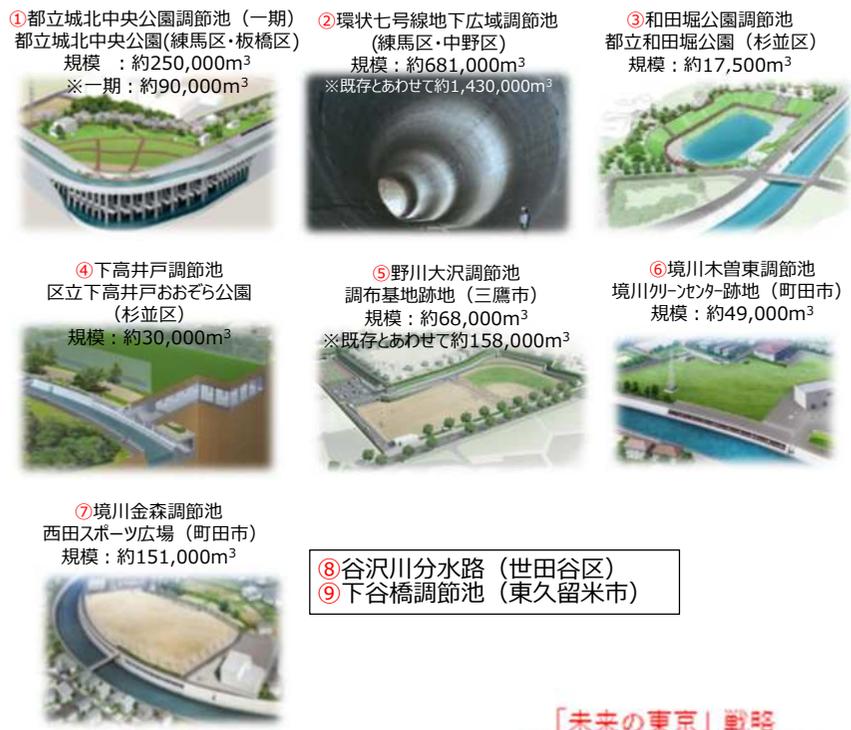
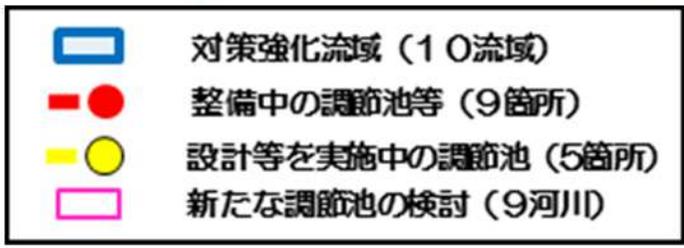
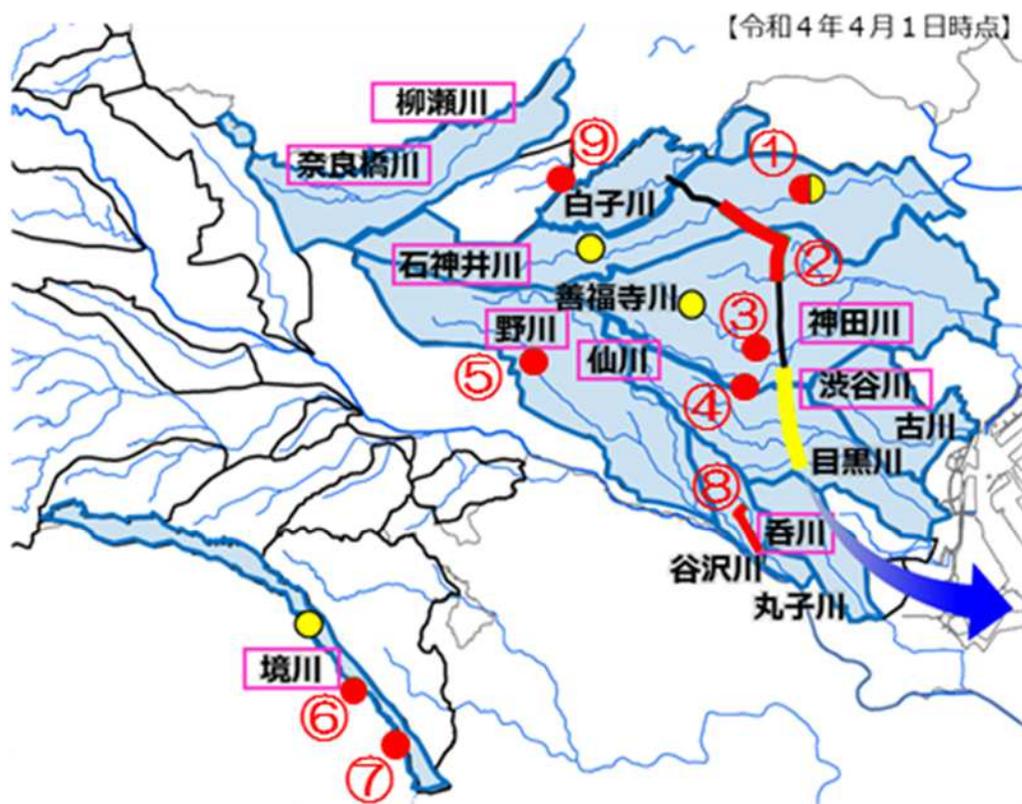


## 整備イメージ



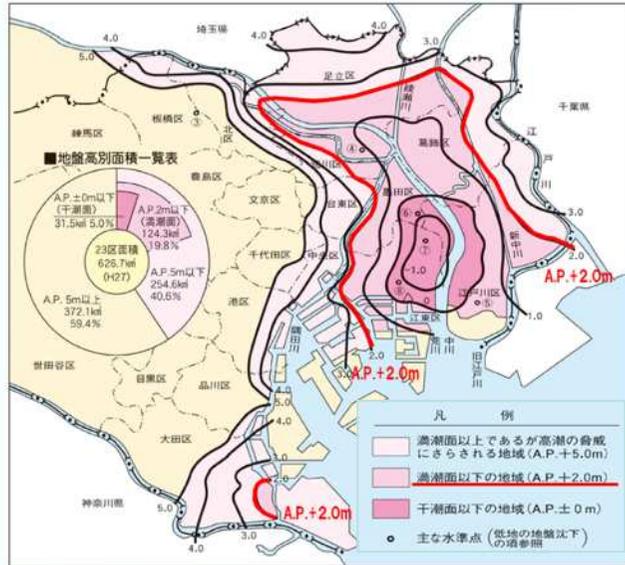
# 中小河川の洪水対策（新たな調節池整備に向けた取組）

- 調節池整備のスピードアップに向けて、「新たな調節池の事業化（150万m<sup>3</sup>）」の目標達成を前倒し
- 仙川で新たな調節池を事業化（令和5年度）



# 低地河川の高潮・地震対策（東部低地帯のリスク）

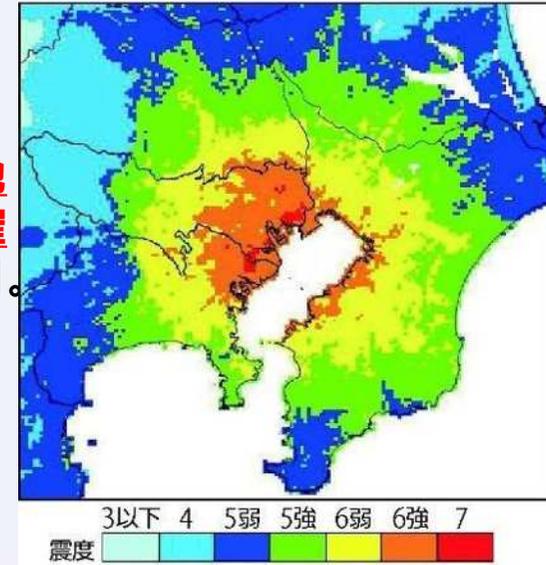
## ○東部低地帯の地盤高



## ○首都直下型地震のリスク

今後30年以内にM7クラスの首都直下地震が、70%程度の確率で発生すると予測。

東京湾北部地震で想定される震度分布



## ○高まる高潮災害のリスク

東京都における高潮警報発表状況及び近年の高潮被害

昭和 54	平成 元	10	20	令和 元
				1 3
				2

← 38年ぶりに東京都内で高潮警報が発表 →

昭和54台風第20号 都内で高潮警報発表



# 低地河川の高潮・地震対策（東部低地帯のリスク）

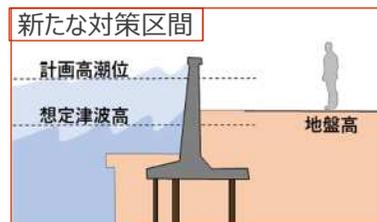
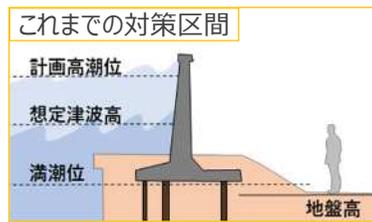
■ 東部低地帯の河川施設整備計画に基づき耐震・耐水対策を推進

## 第一期対策区間

地盤高が満潮位や想定津波高より低い区間

## 第二期対策区間（R3.12策定）

地盤高が津波より高いが、高潮の潮位より低い区間



## 対策目標

- 供用期間中に発生する確率が高い地震動に対して「堤防や水門・排水機場等が損傷しないこと」
- 最大級の地震動に対して「一部損傷したとしても浸水を防ぐ施設としての機能を失わないこと」

水門（今井水門）



防潮堤（隅田川）



# 土砂災害対策（ソフト対策とハード対策の連携）

## ハード対策

区域内の避難所の移転等が不可能で土砂災害対策が必要な避難所周辺で砂防施設等を整備

土石流を抑える砂防えん堤



(奥多摩町海沢)

急な斜面を保全する法枠工



## ソフト対策①

土砂災害防止法に基づき、①危険箇所を明らかにする基礎調査の実施②危険箇所の避難体制の確立及び新たな危険箇所を増やさないための警戒区域等の指定

## ソフト対策②

住民の自主避難及び自治体の避難勧告等の発令の目安となる土砂災害警戒情報を気象庁と共同で発表し、総務局・区市町村を通じて住民へ情報伝達

## ソフト対策③

警戒区域毎の土砂災害ハザードマップ作成に向けた区市町村への技術的支援

ハード対策を着実に進めるとともに、警戒避難体制の確立に必要な土砂災害警戒区域等の指定などのソフト対策の推進が必要

# 水防災情報の発信強化

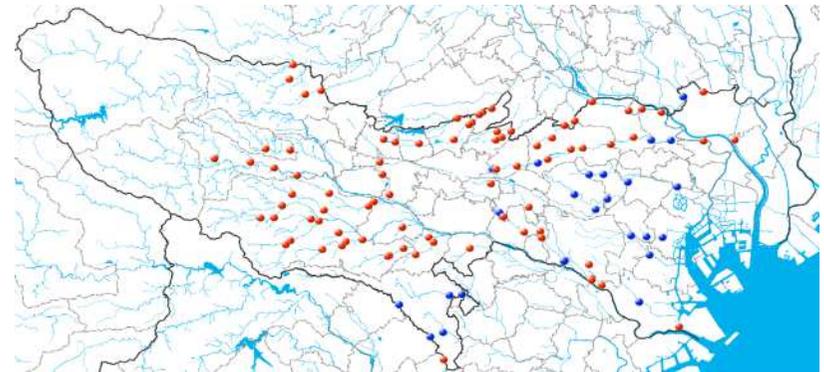
## ■河川監視カメラの設置拡大

- 住民の避難行動に繋がる水防災情報の発信・充実を図るため、河川の状況を分かり易くリアルタイムに伝える**河川監視カメラの設置拡大**
- 令和4年度は**30箇所増設**し、合計で114箇所を映像公開中
- 映像は、東京都水防災総合情報システムや東京都水防チャンネル（YouTube）により確認可能
- 今後も、河川監視カメラの増設にあわせて、順次公開数を拡大予定

## ■東京都水防災総合情報システムの改善

- 都民の迅速な避難行動につながる河川状況をわかりやすく提供するため、「**東京都水防災総合情報システム**」により、水防災情報を発信
- 令和5年3月に**デザインを一新**し、河川監視カメラ、水位、雨量情報を**1画面で統合表示**するなど視認性、利便性を向上
- 今後ともホームページ、Youtube、Twitterなどを積極的に活用し、水防災情報の発信を強化

水防災総合情報システム 河川監視カメラ公開状況



● 令和元年度末における河川監視カメラ公開箇所  
● 令和元年度から令和4年度までに追加公開された箇所

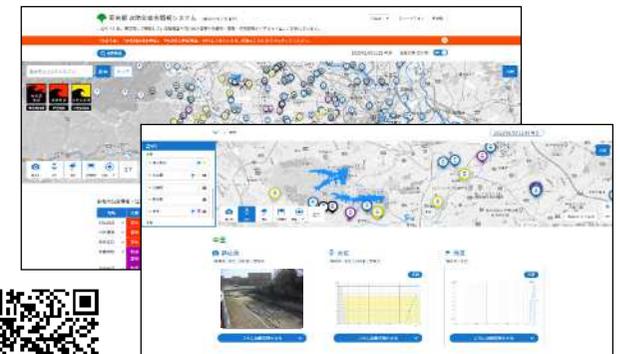


【YouTube 東京都水防チャンネル】

▲QRコード



【スマートデバイス版】

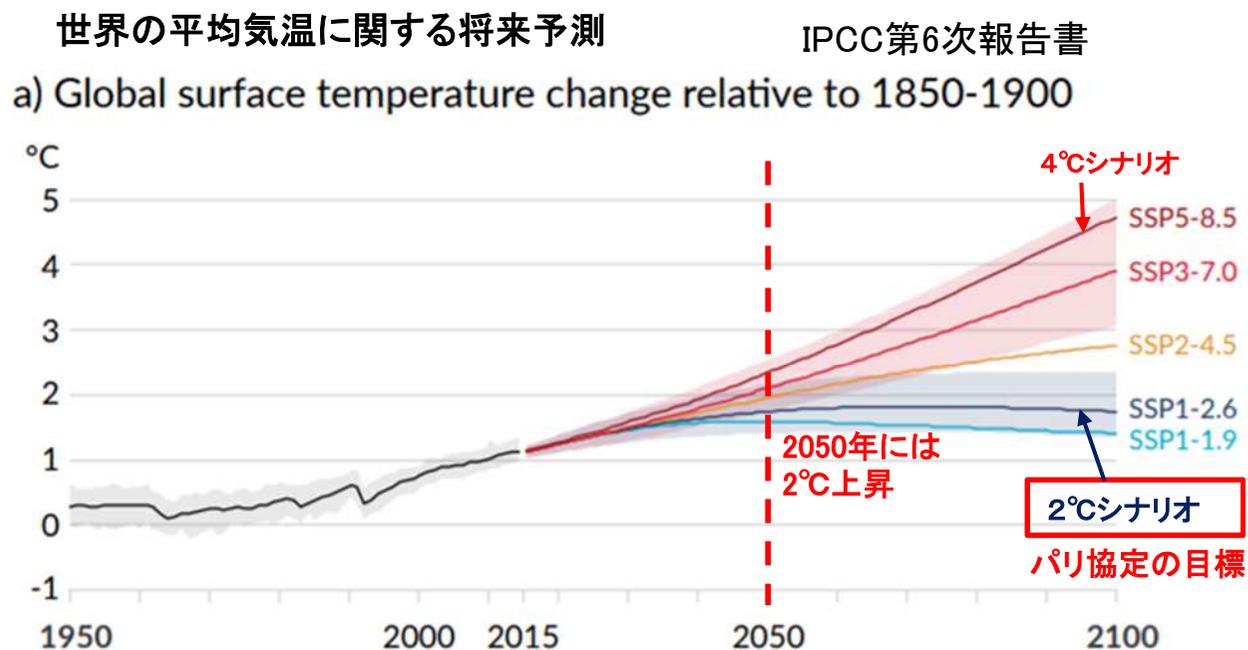


【PC版】

# 気候変動対策

## ■気候変動により気温上昇と降雨量の増加が見込まれる

パリ協定の目標を踏まえたシナリオにおいて、2050年頃までに  
気温が1.5~2℃程度上昇、降雨量は1割程度増加する見込み



### 《気候変動を踏まえた「河川施設のあり方」》

- 気候変動の影響による降雨量の増加や海面上昇、台風の大型化等を考慮した「河川施設のあり方」を策定予定（2023年度）
- 地下河川化を含めた新たな整備手法の検討結果等を踏まえ、気候変動に対応した施設整備を推進